

『すぐに身に付く 介護職員記録研修』

令和7年6月2日（月）
ハイブリッド型研修
会場：テクノプラザ

【実施内容（抜粋）】

- 午前の研修／10：15-12：00
- ・テキスト本をもとに介護現場における記録の大切さを学んだ。
- ・レジュメ資料「介護保険・障害者総合支援制度改革の行方」と介護記録のかわりについて学んだ。

（12：00-13：00 昼休憩）

- 午後の研修／13：00-15：50
- ・テキスト本をもとに記録の書き方を学んだ。
- ・（グループワーク）受講者が持参した介護記録の点検を行い、不備を集計し、注意点などを確認した。



■講師の伊藤亜記先生
実体験も踏まえ分かりやすく教えて頂きました！



会場受講の様子
先生の講義を真剣に受講中。グループワークでも和気あいあいと意見交換を行いました。



“ともにん”も先生著書のテキスト本を見ながら会場受講していました。



今回の研修は会場Zoomのハイブリッドで開催。Zoomのチャット機能を活用し、活発な意見出しを行いました。

『災害時に役立つ介護技術研修』

令和7年6月9日（月）
会場型研修 可児市福祉センター

【実施内容（抜粋）】

- 午前の研修／9：55-12：40
- ・災害に対する介護現場の現状を昨今の自然災害（東日本大震災・能登半島地震など）の情報を変えながら解説した。
- ・発災時における課題についてどのように対応すべきか学んだ。

（12：40-13：40 昼休憩）

- 午後の研修／13：40-16：30
- ・発災期、避難期、復興期の対応方法を施設系訪問系などに分けて学んだ。
- ・豪雨災害を想定したグループワークや災害時・避難時に役立つ身近なものの代用方法を学んだ。



■講師の高野晃伸先生
講師も実演しながら講義を行いました。



災害場面を想定した避難支援を模造紙に図式化して検証しました。



身近なものを使用した
応急処置体験①
写真は、シートを使った
応急搬送方法



身近なものを使用した
応急処置体験②
写真は、サランラップを
利用した固定方法

『失敗しない福祉職員マナー研修』

令和7年6月16日（月）
ハイブリット型研修 会場：テクノプラザ

【実施内容（抜粋）】

- 午前の研修／10：00-12：35
 - ・介護の仕事の必要性と基礎知識について講義を行い、会場受講者は意見の交換、Zoom受講者はチャットでの意見出しを行った。
 - ・講義とワークを繰り返す事で介護職に求められるマナーについて理解を深めた。

（12：35-13：35 昼休憩）

- 午後の研修／13：35-16：00
 - ・介護職に求められる接遇について講義及び事例をもとに不適切ケアについて個人ワーク・グループワークを行い意見交流を行った。
 - ・最後に介護職は感情労働であり、感情のコントロールを身に付けておくことが必要と説かれた。



■講師の神原宏昌先生
介護現場の実情を踏まえながらの接遇マナーについて教えて頂いた。



会場とZoomを併用し、ハイブリット形式による研修を行いました。

『虐待にならないスピーチロック回避研修』

令和7年6月26日（木）
会場型研修 可児市福祉センター

【実施内容（抜粋）】

- 午前の研修／10：00-12：00
 - ・「スピーチロック」とは「言葉による拘束」であり、誰もが起こしうる危険があるものである。どんな言葉が「スピーチロック」にあたるのか、個人ワークで言葉の洗い出しを行った。普段使われている言葉が、相手の行動を制限していることがあるため、「行動を制限する言葉」から「行動を変える言葉」に変える重要性について説かれた。

（12：00-13：00 昼休憩）

- 午後の研修／13：00-15：30
 - ・グループワークでは、暴言にあたる言葉やパワハラを引き起こす可能性のある言葉の洗い出しを行い、その言葉が発生した要因や対策について、各グループで話し合いを行い模造紙にまとめ、発表はワールドカフェスタイルで各グループを回って確認する方法で行った。



■講師の大野晴己先生
数値やデータにもとづいたアカデミックな講義。



ワーク中は講師が巡回し、随時質疑応答をして頂いた。



グループワークの発表は、ワールドカフェスタイルで行った。

『知って助かる リスクマネジメント研修』

令和7年7月4日（金）
ハイブリット型研修
会場：不二羽島文化センター

【実施内容（抜粋）】

- 午前の研修／10：00-12：00
 - ・高齢者施設における事故防止について講義された。事故を防ぐためには、事故の内容を正しく評価して、防ぐべき事故（過失とみなされる事故）を明確にすることが重要であると説明された。
- （12：00-13：00 昼休憩）
- 午後の研修／13：00-15：30
 - ・高齢者施設で起こる虐待事故について、講師が実際に対応した虐待事故の内容をもとに、原因分析と防止対策について学んだ。
 - ・（グループワーク）虐待事故の事例を使って、事故につながった原因や対策について意見交換を行った。



■講師の山田滋先生
実際に関わった事例をもとに分かりやすく教えて頂きました。



会場受講の様子
スライドを見ながら先生のお話を熱心に聞いている様子。



グループワークの様子
事例をもとに活発な意見交換を行っていました。



今回の研修は会場Zoomのハイブリッドで開催
Zoom受講は遠方からの参加もできるので毎回好評を得ています。

『職員間の良い人間関係の築き方研修』

令和7年7月14日（月）
完全オンライン型研修（1日4時間）

【実施内容（抜粋）】

- 午前の研修／10：00-12：00
 - ・より良い人間関係を作り上げるには『信頼される人』『希望を与える人』『安心感をもたらす人』になることが必要です。講義では、そのための具体的なポイントを学んだ。
- （12：00-13：00 昼休憩）
- 午後の研修／13：00-15：00
 - ・個人ワークで「よりよい人間関係の構築に貢献する職員となるために、これからどのような行動を起こすことが必要だと感じたか」について書き出した。その後グループで共有・自由討論を行い各グループ発表を実施。各発表について久田先生より愛ある暖かいコメントをいただいた。



■講師の久田則夫先生
講義は終始、安心感ある語り口調であったという間の研修時間でした



完全オンラインの研修に関わらず、毎回高評価を頂いており人気ある研修の1つです。

『学んで実践 クレーム対応研修』

令和7年9月1日（月）～10月15日（水）

期間限定動画視聴



一か月半の視聴期間中は、何度でも何人でも視聴可能なので、施設内研修などに利用いただくなどフル活用できます。また、一時停止機能や倍速再生などにも対応するなど「活用しやすい」とのお声をいただきました。

【プログラム内容】

動画①クレーム対応担当者としての心構え

- *クレームをどう捉えるか
- *クレームの意義と価値
- *クレーム3ないキーワード

動画②クレーム対応の基本・対応の決め方は「どのように聞くか」

- *初期消火からクレーム解消までのステップ
- *受け入れられる解決策のポイント
- *角が立たない「お断り」の仕方
- *クレーム対応の際の聞き方
- *クレーム対応の際のあいづち
- *相手の真意を理解・確認する質問

動画③クレーム対応の際の話し方・対応が困難な「ハードクレーム」の知識

- *相手の心理を考えながら話す
- *ご理解いただくための「わかりやすい話し方」
- *ご納得いただけるアプローチの仕方
- *クレームのレベルと見分け方
- *組織的対応力を磨くために
- *一人で頑張らない、頑張らせない

『介護職が知っておきたい

医学知識基礎講座①』

〈認知・感覚・運動等〉

令和7年9月12日（金）

ハイブリット型研修 会場：不二羽島文化センター

【実施内容（抜粋）】

■午前の研修／10：00-12：00

- ・「こころ、精神機能、脳」について図解を用いて講義いただいた。さらに認知症について医学的見地から解説いただいた。

（12：00-13：00 昼休憩）

■午後の研修／13：00-16：00

- ・「精神障害、統合失調症、うつ、発達障害」について解説、その支援方法や対応について学んだ。また、運動機能や動作にかかわる感覚機能を解説いただき、緊急時対応についても説明いただいた。



■講師の板部美紀子先生
カラー図解を多用した資料でより詳しく学ぶことができました。



会場とZoomの併用型で受講選択できるところが魅力です。

『みんながいいきき 福祉の職場改善研修』

令和7年9月24日（水）

ハイブリット型研修 会場：岐阜県福祉・農業会館

【実施内容（抜粋）】

■午前の研修／10：00-12：30

- ・「福祉の職場に求められるリーダーシップとは？」
福祉の職場におけるリーダーとしての心構えや役割について学び、求められるリーダーシップについて理解を深めた。
- ・「働きやすい仕組みづくり」
業務の効率化、職員の育成のしやすさなど、働きやすい仕組みづくりにつなげるために、日々の業務をどのように標準化していくかについて学んだ。

（12：30-13：30 昼休憩）

■午後の研修／13：30-16：00

- ・「ティーチング・コーチングとは？」
ティーチングとコーチングの違いについて理解し、それぞれの効果的な使い分け方を学んだ。
- ・後輩、部下の指導の際に実践できる方法を演習で体験。
また、現場でよく見られる事例についても検討した。



■講師の榊原宏昌先生

1テーマの講義後、演習という形を繰り返すことで、テーマごとの理解がより深まりました。

管理職・リーダー層対象ということもあり、演習ではリーダーシップ・メンバーシップを発揮した活発な議論が展開しました。



『外国人のための わかりやすい介護技術研修』

令和7年9月29日（月）

会場型研修 岐阜県福祉・農業会館

【実施内容（抜粋）】

■午前の研修／9：55-12：00

- ・「介護の基本・理念の再確認」
介護福祉に必要なこと、倫理等基本事項を再確認。
- ・「利用者との関わり方」
コミュニケーションの意味、傾聴について学んだ。

（12：00-13：00 昼休憩）

■午後の研修／13：00-16：00

- ・「リスク対応について」
アセスメントをもとにリスクマネジメントを行うことの重要性について学んだ。
- ・「正しい介護技術の仕方とは～介護技術の再確認～」
移動、移乗の意味やボディメカニクスに基づく介護方法について実技を交えて再確認した。



■講師の高野晃伸先生

ゆっくりした口調で、一つ一つ確認しながら丁寧に講義いただきました。



実技演習では和気あいあいとした様子が見られました。

『心を整える セルフケア研修』

令和7年10月1日(水)

完全オンライン型研修(半日3時間)

【実施内容(抜粋)】

■13:00-15:10

- ・「メンタル不調を防ぐストレスの基礎知識」
ストレス要因とストレス反応について解説、自身のストレス度をチェックして現状を確認した。
- ・「ストレス対処力を上げるには」
セルフケアのポイントを知り、ストレスに対応する方法を学んだ。

(途中10分程度の休憩×2回)

■15:20-16:00

- ・「心を元気にする自己肯定感の高め方」
自分を認めるためのポイントを学び、個人ワークで自分で自分をほめて自己肯定感を高めた。
- ・「実践!リラクゼーション」
ストレスと自律神経の関係やリラクゼーションの効果を学び、最後に呼吸法実践して日頃のストレスを軽減することができた。



■講師の庄司順子先生
講師もリモートで指導。1時間に10分の休憩でリフレッシュしながら受講できました。

「書き出し法」のワークではマイナス感情を紙に書き出して丸めて捨てることで気持ちがスッキリしました。



『介護職が知っておきたい

医学知識基礎講座②

〈循環、呼吸、消化等〉』

令和7年10月10日(金)

ハイブリット型研修 会場:大垣市情報工房

【実施内容(抜粋)】

■午前の研修/10:00-12:05

- ・「内臓をコントロールする自律神経」
- ・「心肺機能・消化機能」
- ・「食べることに関する加齢や症状による影響、異変の観察」

カラー図解を多用し、視覚的にもわかりやすい資料を使って学んだ。

(12:05-13:00 昼休憩)

■午後の研修/13:00-16:00

- ・「排泄機能、透析療法、感染症対策」
透析治療を行っているご利用者さまが増えている状況から、昨年度よりもさらに内容を拡充して学んだ。



■講師の板部美紀子先生
充実した資料をもとにひとつひとつ詳しく解説いただきました。

講師が会場で講義する様子をオンラインで配信。

